

50800

# 被暗示性テスト

人は覚醒状態においても暗示に反応する傾向をもっています。この暗示されやすさを覚醒被暗示性、あるいは簡単に被暗示性といいます。被暗示性テストは広く心理学基礎コースの実験、実習にとり入れるのに適したテストです。5種類の用具を用い、1. 言語暗示・非言語暗示、2. 直接暗示・間接暗示、3. 他者暗示・自己暗示の被暗示性を測定します。



1. 色名暗示テスト【間接暗示のテスト】

2. 線分の長さ暗示テスト

【間接暗示・非言語暗示のテスト】

3. 重さの暗示テスト【言語暗示のテスト】

4. 圧縮・弛緩テスト【被暗示性のテスト】

5. 振子テスト【被暗示性のテスト】

50810

# 振子テスト

約30cmの糸のついたおもりを半径1cm・2cm・3cm・4cm、4個の円を描いた同心円版を用いて行います。観念運動暗示の実験器具です。

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 同心円版寸法 | 約120(W)×120(D)×1(H)mm |
| 振子重り   | 約3.2g                 |

